



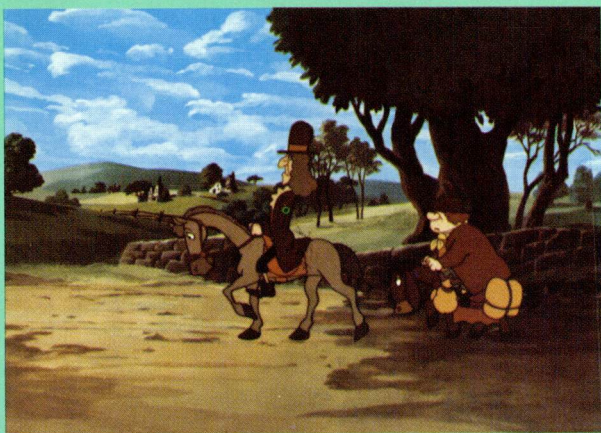
〔シリーズ生命保険Ⅰ〕

たすけあいの歴史

カラー・アニメーション・35ミリ・16ミリ・30分

企画 生命保険協会

制作 株式会社 桜映画社



この映画のあらすじ

▶ 大地は母、太陽は父

はるかな歴史のかなたで人間が地上に現われます。キバもツノもないオドオドした動物、でも、彼らの体内にはすでに未来を切りひらく無限の力が潜んでいたのです。

やがて長い不安定な狩猟時代を経て大地に根をおろした農耕文明がはじまります。そこでは互に助け合う本能が共同生活を生み出し、村落を作り、知識や技術をみがいて生きてゆきます。自然の恵みを受け、母なる大地と父なる太陽の力をかりて、貧しくとも暮らしは安定していた時代——中でも助け合って生きてゆこうとする家族の結びつきは本能が生み出した何よりも強い絆でした。

▶ 最初の試み

職人が通る、商人が通る、坊さんも通る。中世——分業の時代が始まります。たくましく発展した農耕文明はやがて封建領主を生み、城下町が発達して人々を寄せ集めます。

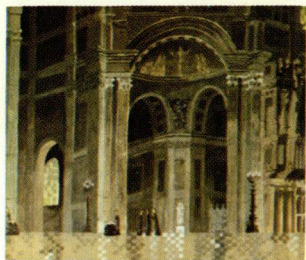


そこには生活の拠りどころである母なる大地から切り離された人々が集まり新しい都市文明を作り出しました。暮ら

すには便利だけれど頼れるのはおカネだけ、保障のない生活、その不安がこの人々の胸の底から消えません。

この中世の雑踏の中で、商人や職人たちは自分たちの生活を守るために同業組合を作りました。ギルドの発生です。不安な都会人の、母なる大地に代る助け合いの制度です。

時代は17世紀。ロンドンのセントポール寺院のお坊さんたちは万一時お互を助け合うおもしろい組合を作りました。お坊さんのだれかが亡く



なると、前もって積み立てておいたおカネを遺族に渡す香典の前払い組合です。ところが積立金の額を老いも若きも一律にしていたので、実際には死ぬのは老人ばかりで若いお坊さんは掛金を出すばかり。多勢の人で助け合えば、ひとりひとりの負担は軽くなるというせっかくのアイデアも若い坊さんの不満が強くなって失敗してしまうのです。

▶ 友愛組合の誤算

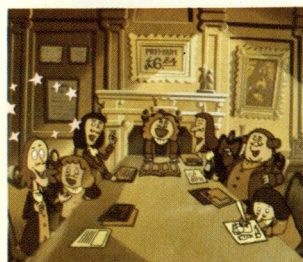
それから、数年、ロンドンに地域の顔見知り2,000人で作った孤児寡婦保障組合と呼ばれる助け合いの組織が生まれ

スタッフ

製作	村山 英治
脚本	村山 正実
構成	平見 修二
演出	杉井ギサブロー
アニメーション	山本 繁 三輪 孝雄 児玉 喬夫 内田 好之
撮影	熊谷 悦史
音楽	間宮 芳生
解説	岸田今日子

ました。職業にこだわらず加入者の輪を広げたのです。しかしこの組合も死ぬ人が出るたびに掛金を高くしなければならず、10年ほどでゆきづまってしまうのです。

こうした経験を生かして1707年に友愛組合(アミカブル・ソサエティ)という生命保険組合が同じロンドンに生まれました。掛金は年6ポンド4シリングと一定にして、集め



たおカネはその年に死んだ人の遺産で分け合うという仕組みですが、死ぬ人がふえると分け合うおカネは減ってしまいます。分け合うお金を減らさないようには毎年新しい会員を補充してゆかなければなりません。そこで考えた末に新規加入者は死ぬ危険の高い老人を避け、「12才から45才までの健康な人」という条件をつけたのです。危険選択のはじまりです。

▶ ドドソン先生とハレー氏

当時のヨーロッパはちょうどルネッサンスのあとで、科学的、合理的な考え方が少数の先覚者の頭の中で大いに芽ばえていました。

一見偶然と見えることでも、

沢山の例を集めてみるとそこに一定の法則、「大数の法則」があることを発見したのもそのひとつです。

ハレー彗星の発見で知られるエドモンド・ハレー氏はこの大数の法則を利用して、苦心の末一見個人個人バラバラにみえる人間の寿命にもこの法則があてはまることを実際に証明し、世界最初の生命表を作ったのです。

さて、当時46才でたった1才ちがいで前の友愛組合への



加入をことわられた人の中に、数学者ジェームス・ドドソン先生がいました。彼は研究の結果年令が1才高い理由で保険組合に加入できないのはやり方が悪いのではないかと考え、ハレーの生命表を土台にして年令別の保険料を算出しました。つまり死亡率に応じた掛け金こそ真に公平であり、これによって若い人も老人もこの制度を利用できることを可能にしたのです。

ただ彼の計算方法を使った世界最初の近代的生命保険会社エクイタブル(公平)生命保険会社の誕生は、彼の死後5年たった1762年だったので、

しかし、こうしてハレー氏とドドソン先生の残した研究によって、近代生命保険の基礎が確立されその後の発展につながるようになったのです。

▶ 生命保険は母なる大地

その頃、新大陸アメリカの発見が宗教と経済の自由を求めるヨーロッパの人々の間で大きくクローズアップされてきました。そして広大な処女地、欲望の大陸への人々の願望はヨーロッパの古い社会の絆をふりきって、アメリカ全土をまたたく間に呑み込んで行きます。しばらくは豊かな大地に家族中心の農村生活が営まれますが、それもつかの間、商工業の爆発的發展と巨大都市の出現へとつづきます。

あの中世の都市生活よりさらに進んだ非情で孤独な分業社会、この都市に住む人びとにとっては永遠の保障、母なる大地はどこかに消えてしまったかのようです。

しかし、この鉄とコンクリートにかこまれた孤独な世界で、大きな助け合いの制度、生命保険は「経済的な母なる大地」として人びとの間にしっかりと根をおろしたのです。

これからの歴史がどう変わるとも、人間は生活の不安がなくならないかぎり、よりよい助け合いの制度を追求してゆくことでしょう。

生命保険の解説映画を下記シリーズで製作進行中です。
いずれもカラー・35ミリ・16ミリです。

〔シリーズ生命保険〕

- ▶ 1. たすけあいの歴史
- 2. 生命保険のしくみⅠー保険料
- 3. 生命保険のしくみⅡー積立金の役立ち
- 4. 生命保険の種類とその働き (48年10月完成予定)
- 5. 生活設計のたて方
- 6. 生命保険の利用のしかた (製作準備中)
- 7. 生命保険セールスマン (")
- 8. ドラマー生命保険 (")
- 9. 外国の家庭と生命保険 (")

フィルムの貸出

上記各映画のフィルムを下記で無料貸出しいたしております。直接または最寄りの生命保険会社を通じてお申込みください。

生命保険協会広報課	東京都千代田区丸ノ内3-4-1	新国際ビル	(213)0661
生命保険協会関西支部	大阪市北区絹笠町46	堂島ビル	(362)9674
札幌生命保険協会	埼玉県生命保険協会	岡山県生命保険協会	
旭川生命保険協会	千葉県生命保険協会	広島県生命保険協会	
函館生命保険協会	神奈川県生命保険協会	山口県生命保険協会	
釧路生命保険協会	新潟県生命保険協会	香川県生命保険協会	
岩手県生命保険協会	石川県生命保険協会	高知県生命保険協会	
宮城県生命保険協会	長野県生命保険協会	愛媛県生命保険協会	
秋田県生命保険協会	静岡県生命保険協会	福岡県生命保険協会	
福島県生命保険協会	愛知県生命保険協会	長崎県生命保険協会	
茨城県生命保険協会	京都生命保険協会	熊本県生命保険協会	
栃木県生命保険協会	神戸生命保険協会	大分県生命保険協会	
群馬県生命保険協会	島根県生命保険協会	宮崎県生命保険協会	